

Q. 作業療法と理学療法の違いはどんなところですか？

A. 「作業」を治療的に用いたり、治療の対象にしたりするところが作業療法の特徴です。作業療法は他のリハビリ専門職と比べて、対象となる方の生活行為に注目する点も特徴です。

Q. なぜ作業療法を選びましたか？

A. 私はもともと子どもの障害に興味があり、体の機能を改善するだけでなく生活に困っている子たちの手助けをしたかったから作業療法を選択しました。今は発達障害のお子様を持つ家族が家庭でできる支援の方法を研究しています。

A. 私は最初介護に興味があり、高校の生物の授業で人間の体にも興味を持ったので、介護と医療の中間というイメージで作業療法を選びました。大学入学後、作業療法の授業を受けていくうちにメンタルヘルスにも興味を持ち、今は精神障害について研究しています。

Q. 学校生活は大変ですか？

A. 1年次は全学教養科目を履修するため東山キャンパスに行かなければならず比較的忙しいです。1日の平均授業数は3コマくらいでした。

Q. 部活動やアルバイトはできますか？

A. 私は医学部だけのダンスサークルに所属しています。週2日程度、夕方から練習していて、会場を借りた発表イベントなどもしています。合宿も夏冬に1回ずつあります。アルバイトは多くても週2日くらいで、カフェで働いたり家庭教師をしています。学業と両立して頑張っています。

A. 私は全学の合唱サークルに所属しています。平日2日間夕方からと、休日に1日練習しています。コンクールのため県外にも行ったりすることもあります。アルバイトはカフェ、家庭教師、塾講師などをしています。病院や施設での臨床実習期間はアルバイトをすることが難しいですが、それ以外は基本的に週3~4日くらい行っています。

Q. どんな授業がありますか？

A. 1年次は全学教養科目が中心で、東山キャンパスで学びます。9月には作業療法士が勤務している病院や施設の見学実習をします。2年次以降は作業療法についての専門科目が増えます。座学に加えて、実習科目もたくさんあります。3年次の秋学期には病院や施設での実習があり、作業療法の評価について体験して学びます。4年次には長期間の臨床実習があります。実際の病院や施設で、患者様や利用者様に対する作業療法過程を体験して学びます。

Q. 卒業後の進路にはどんなところがありますか？

A. ほとんどの場合、作業療法士として病院や施設に就職するか、大学院に進学しています。中には、作業療法学専攻で学んだ知識を活かして医療関連等の一般企業に就職する人もいます。